

# 利用学生に寄り添い、ともに考える支援

東北大学特別支援室 学生サポーター（石澤真優，遠藤麻衣，窪田真由子，朝賀愛美）

## 本学で行なっている情報保障の形

### UDトーク®

発話者の音声を認識し  
自動で文字情報に  
変換するアプリ

### サポーターによる 修正

認識漏れ・誤字の修正を  
サポーターが  
リアルタイムで行う

### 文字起こし

UDトーク®のログをもとに  
ゼミの動画を聞きながら  
修正・補足

### 密な コミュニケーション

利用学生とサポーター、  
サポーター同士で  
相互に意見交換

## UDトーク®を用いた情報保障を行う背景

- ①オンライン・双方向型のゼミ形式
- ②専門的で高度な内容
- ③拘束時間が長い
- ④サポーターごとにスキル・専門領域が異なる



## 工夫している点

### <ゼミ当日>

#### ・発言内容だけでなく雰囲気やニュアンス、状況も伝える

進捗はどうなっていますか。  
そうですね・・・多分、明日までには出  
せると思います。

… を用いて言い淀みを表現

家を出る前にプリンターが壊れて、提出  
書類を出せません。  
嘘でしょ(笑)。

(笑) で冗談や会話の雰囲気を表現

私は新潟県出身です。  
新潟は雪がいっぱい降りますよね？  
はい、そうです。

? を用いて疑問のニュアンスを明確化

△UDトーク異常△ マイクを入れてくだ  
さい  
すみませんマイク入れ忘れてました。

UDトーク®の不具合を知らせる

それでは次の・・・(咳払い)  
失礼しました。  
それでは次のテーマに移ります。

文字に反映されない出来事を説明

資料には、「火山の研究を行っている」と  
書いてあり、とても興味深いです。  
ありがとうございます。

「」を用いて引用を表す

#### ・振り返りの実施

→サポーター，利用学生，支援室，ゼミ参加者でフィードバックを共有  
読み上げ機能の動作・読み間違いの確認  
改善点をその都度確認，要望や疑問点などを相互に意見交換

### <翌日以降>

#### ・視覚的にも理解しやすいログの修正

→利用学生からのフィードバックを取り入れる

例) ゼミのログ：黒字 修正箇所：赤字 サポーターによる補足：青字

先生/👉  
すぐでいい?👉  
それとも、何か時間使った方がいい? (アイコンタクト)👉  
了解。👉

アイコンタクトでのやり取りを補足

発表者/👉  
ちょうどその4名についての研究ということで、ここ(Zoom上では第9章をカーソルで指  
している)で取り上げてます。👉  
ここ(Zoom上では第9章をカーソルで指している)のところはもう終わっているところ  
です。👉

指示語の内容を補足

#### ・原稿のダブルチェックを行い、情報の抜け漏れを防ぐ

#### ・経験者，未経験者を交え，流動的な体制で行う

→マニュアルを作成し，継続的に，全体で支援できるようにする

